

一級河川平瀬川背水堤防整備工事 (平瀬川・多摩川合流部整備事業) に関する説明会

令和7年9月

川崎市建設緑政局 道路河川整備部

河川課

高津区役所道路公園センター

南部都市基盤整備事務所
整備担当

国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 流域治水課

1

1

工事説明会次第

①. 平瀬川合流部の堤防整備について

- 令和元年東日本台風の浸水被害対策について
- 前回の説明会におけるご意見・ご要望について

②. 一級河川平瀬川背水堤防整備工事について

③. 家屋調査について

④. 多摩川右岸18.6k付近(平瀬川合流部)の堤防整備 について

⑤. 質疑応答

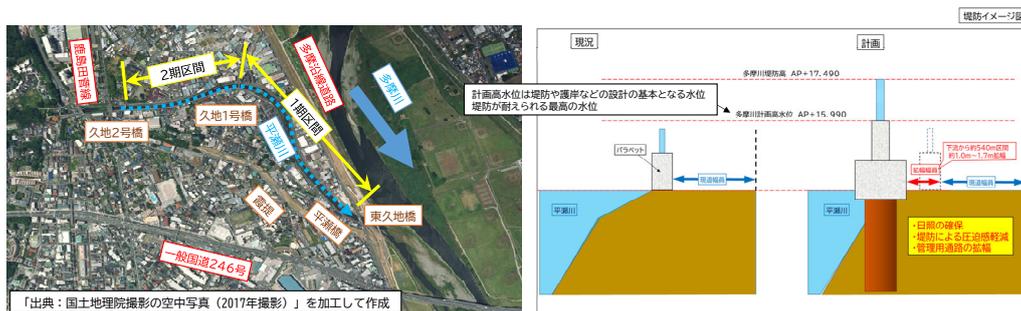
2

2

令和元年東日本台風の浸水被害対策について

平瀬川(多摩川合流部周辺)の浸水状況等

多摩川上流域で観測した既往最高の雨量は、計画高水位を超過したまま多摩川下流域を流下しました。一方、平瀬川流域の雨量は流下能力を下回る降雨でしたが、多摩川において田園調布(上)水位観測所等で計画高水位を越える状況の中、平瀬川においても水位が上昇し、管理用通路水抜き穴からの浸水、東久地橋桁下からの浸水、平瀬川の堤防からの越水が確認され、約6haの浸水被害が発生しました。これまで短期・中期対策を講じてきましたが、この度、中長期対策に位置付けている平瀬川背水堤防工事(1期区間)を実施します。



3

3

前回の説明会におけるご意見・ご要望について

令和6年10月の平瀬川・多摩川合流部整備事業の説明会における主なご意見・ご要望

- 平瀬橋は生活に関わることなので整備して欲しい
- 多摩川へ出る道は必ず作って欲しい
- 避難所に行けない人の一時避難施設として、地域の施設や企業に交渉してほしい
- 工事中に平瀬川が氾濫した場合は補償してもらえるのか
- 左岸側の浸水対策を考えてもらいたい

4

4

一級河川平瀬川背水堤防整備工事

工事説明会

第1回 令和7年9月7日（日）15:00～16:30

第2回 令和7年9月8日（月）19:00～20:30

工事発注者 : 川崎市建設緑政局 道路河川整備部
南部都市基盤整備事務所

工事施工者 : 鹿島・不動テトラ・西武共同企業体

5

5

次第

1. 工事概要
2. 施工方法
3. 工程関係
4. 交通関係
5. 安全環境対策
6. お問い合わせ先

6

6

1. 工事概要

工事概要

■本工事は、一級河川平瀬川と一級河川多摩川の合流部において、多摩川計画堤防高に合わせた背水堤防（自立式特殊堤）を平瀬川に築堤する工事です。

■工事延長 左岸：L=646.1m
右岸：L=660.7m



【用語説明】

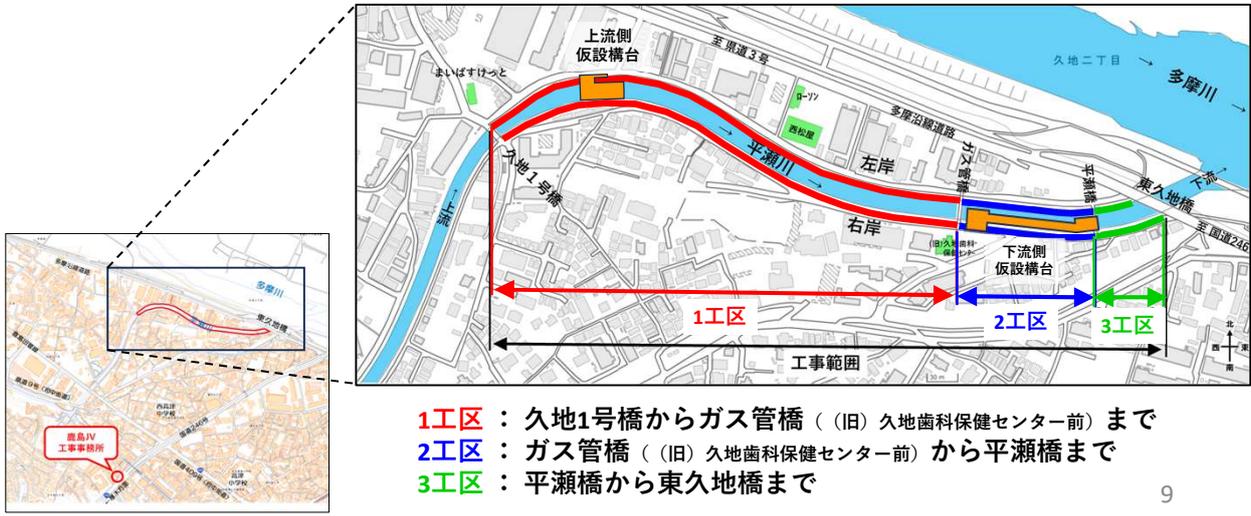
平瀬川の上流側を背にして下流（多摩川）方向を向いた時に、川の左側を「左岸（さがん）」、川の右側を「右岸（うがん）」と呼びます。（図参照）

全体工期

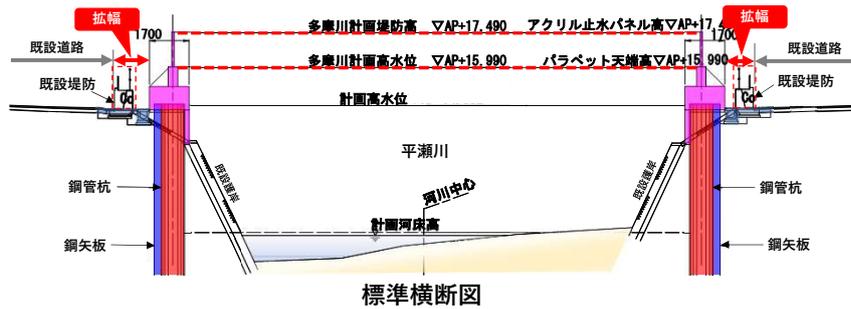
■令和7年3月31日～令和15年3月31日

工事場所

川崎市高津区久地2丁目地内（平瀬川）



堤防の構造・イメージ



標準横断面図



完成イメージ（河川側）



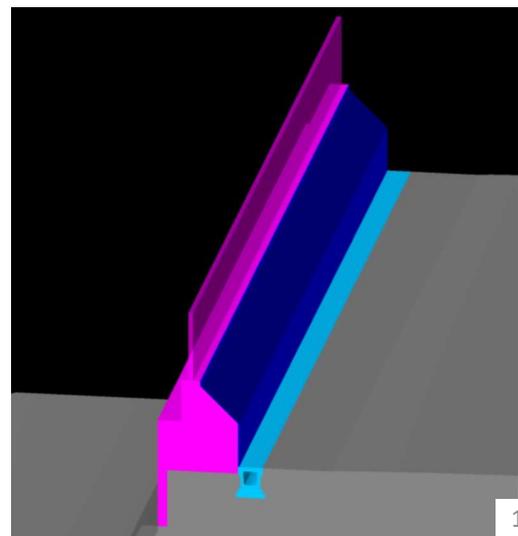
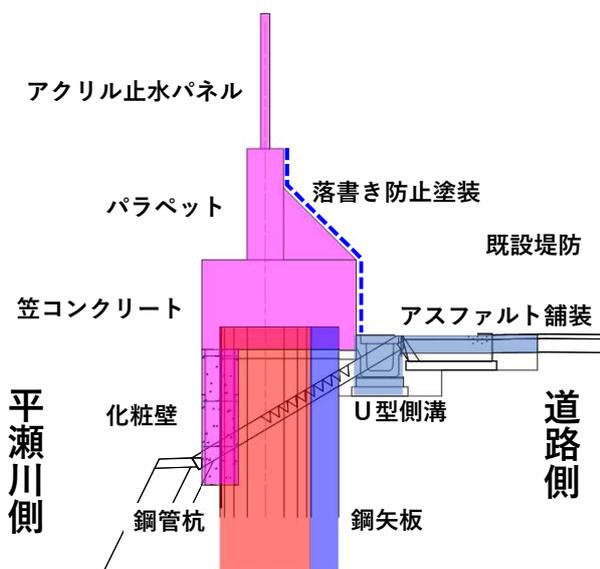
完成イメージ（歩道側）

2. 施工方法

11

11

堤防の施工手順 ※標準部の断面



12

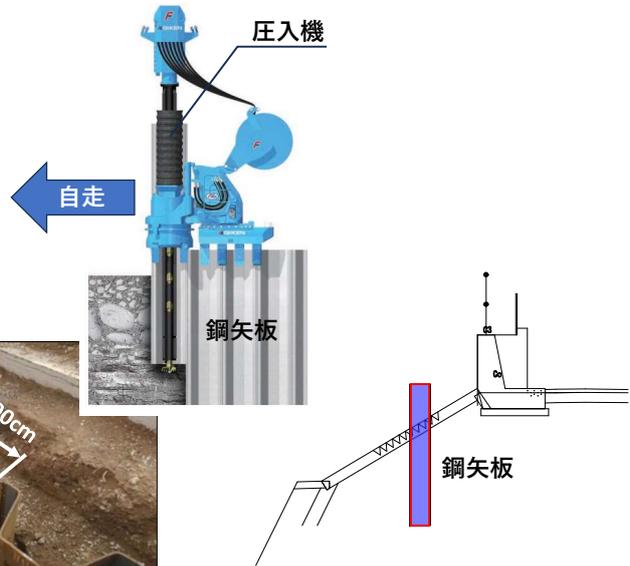
12

施工方法

① 鋼矢板圧入

※一部設置しない箇所もございます。

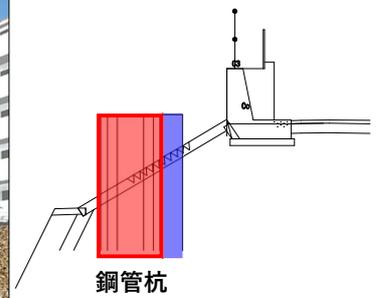
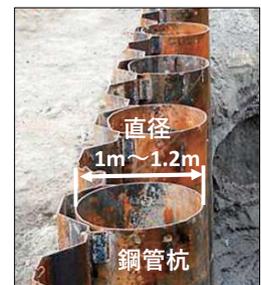
① 鋼矢板圧入	吐口工 (並行施工)
② 鋼管杭圧入	
③ 上部コンクリート打設 (化粧壁、笠コンクリート、バラベット)	
④ アクリル止水パネル設置	
⑤ 既設堤防撤去	
⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など	



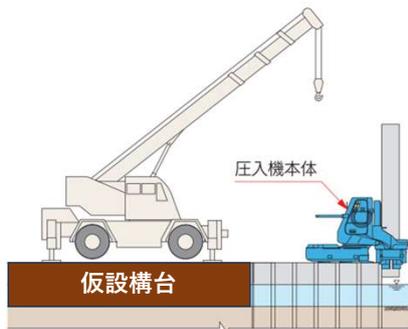
施工方法

② 鋼管杭圧入

① 鋼矢板圧入	吐口工 (並行施工)
② 鋼管杭圧入	
③ 上部コンクリート打設 (化粧壁、笠コンクリート、バラベット)	
④ アクリル止水パネル設置	
⑤ 既設堤防撤去	
⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など	

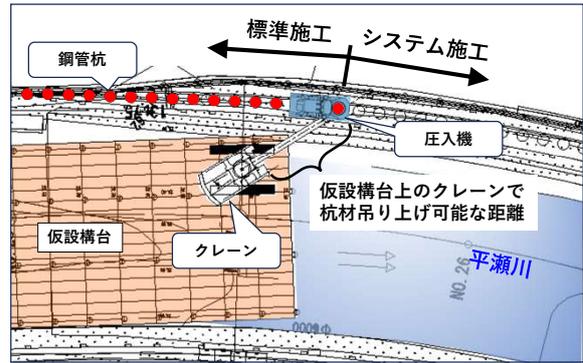


鋼管杭圧入（標準施工）



1 圧入機本体を設置し、圧入開始

1本ずつ圧入し、前進

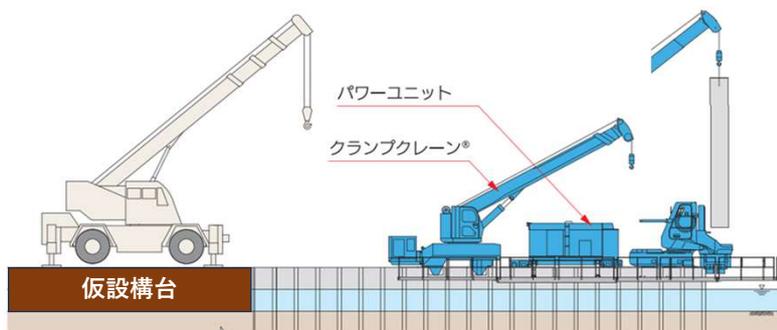


- ①標準施工では、仮設構台上のクレーンで杭材を吊り上げて、圧入機に建て込みます
- ②杭材を1本ずつ圧入し、前進していきます
- ③仮設構台上のクレーンで施工ができない範囲になったら**システム施工**に移行します

15

15

鋼管杭圧入（システム施工）

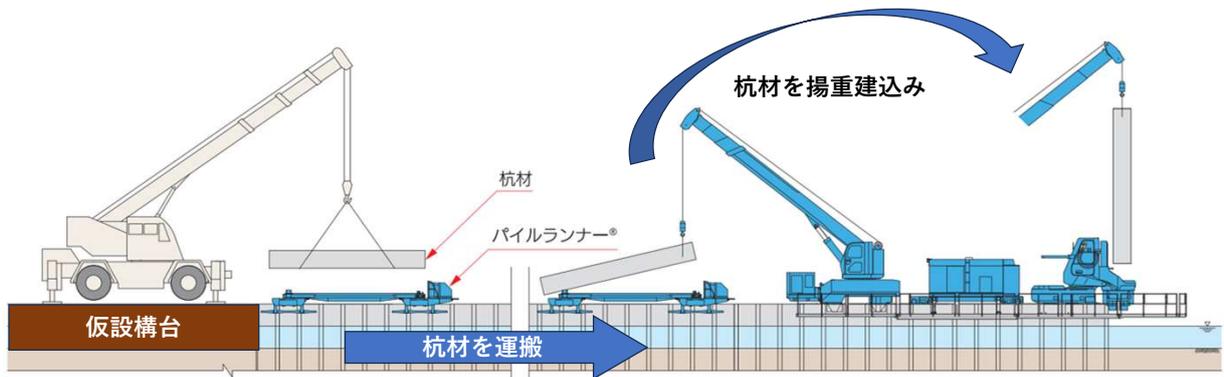


2 仮設構台から「標準施工」にて圧入後、パワーユニット、クランプクレーンを圧入済の杭の上に設置する。

16

16

鋼管杭圧入（システム施工）



3 パイルランナーを設置し、杭材を圧入位置まで搬送

17

17

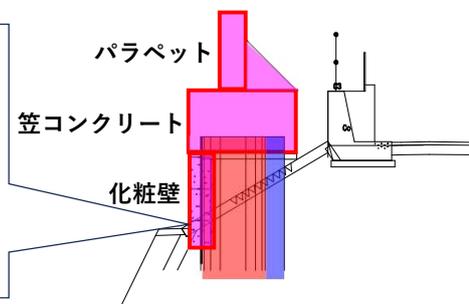
施工方法

③上部コンクリート打設 （化粧壁、笠コンクリート、パラペット）

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| ① 鋼矢板圧入 | 吐口工
(並行施工) |
| ② 鋼管杭圧入 | |
| ③ 上部コンクリート打設
(化粧壁、笠コンクリート、パラペット) | |
| ④ アクリル止水パネル設置 | |
| ⑤ 既設堤防撤去 | |
| ⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など | |



化粧壁 施工例



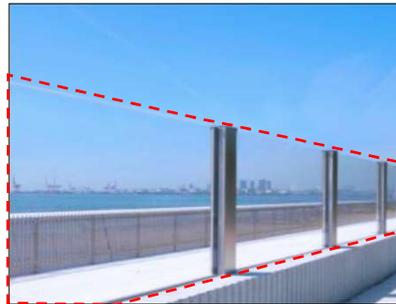
18

18

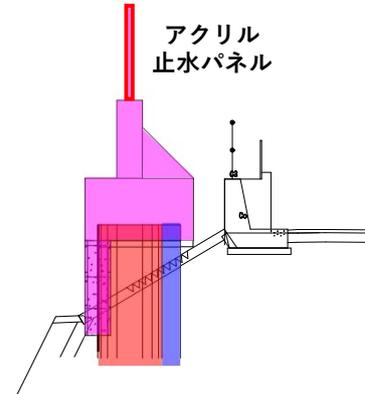
施工方法

④ アクリル止水パネル設置

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| ① 鋼矢板圧入 | 吐口工
(並行施工) |
| ② 鋼管杭圧入 | |
| ③ 上部コンクリート打設
(化粧壁、笠コンクリート、バラベット) | |
| ④ アクリル止水パネル設置 | |
| ⑤ 既設堤防撤去 | |
| ⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など | |



アクリル止水パネル
施工例



19

19

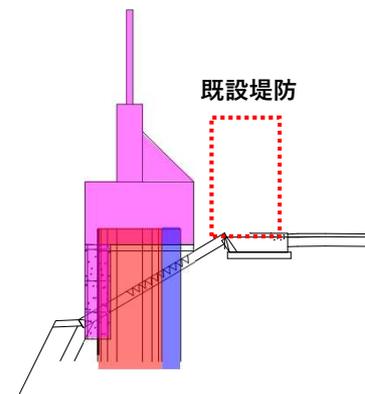
施工方法

⑤ 既設堤防撤去

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| ① 鋼矢板圧入 | 吐口工
(並行施工) |
| ② 鋼管杭圧入 | |
| ③ 上部コンクリート打設
(化粧壁、笠コンクリート、バラベット) | |
| ④ アクリル止水パネル設置 | |
| ⑤ 既設堤防撤去 | |
| ⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など | |



既設の堤防を撤去



20

20

施工方法

⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など

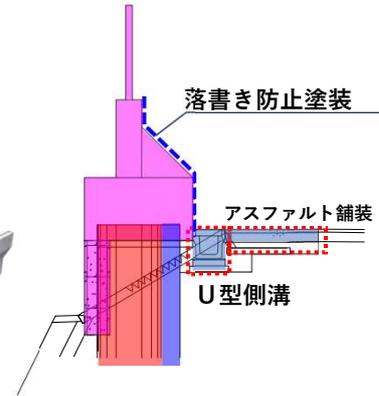
- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| ① 鋼矢板圧入 | 吐口工
(並行施工) |
| ② 鋼管杭圧入 | |
| ③ 上部コンクリート打設
(化粧壁、笠コンクリート、パラペット) | |
| ④ アクリル止水パネル設置 | |
| ⑤ 既設堤防撤去 | |
| ⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など | |



保安灯

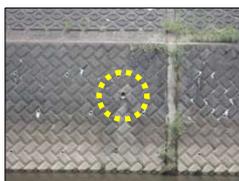


U型側溝



吐口工について

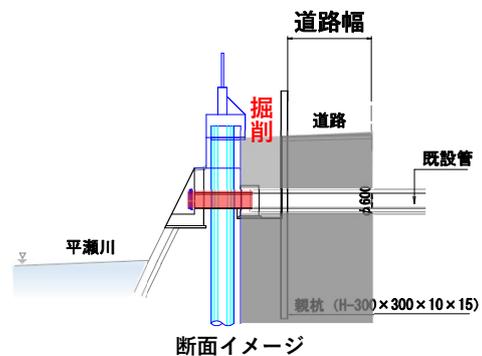
- ・吐口：道路排水などを河川に排水するための排水管や樋管（写真参照）
- ・今回の工事範囲には数十か所。
- ・堤防構築と並行して、これら吐口を撤去復旧します。
- ・道路の一部を掘削するため、掘削から撤去・復旧までの期間、道路幅が狭くなります。



排水管

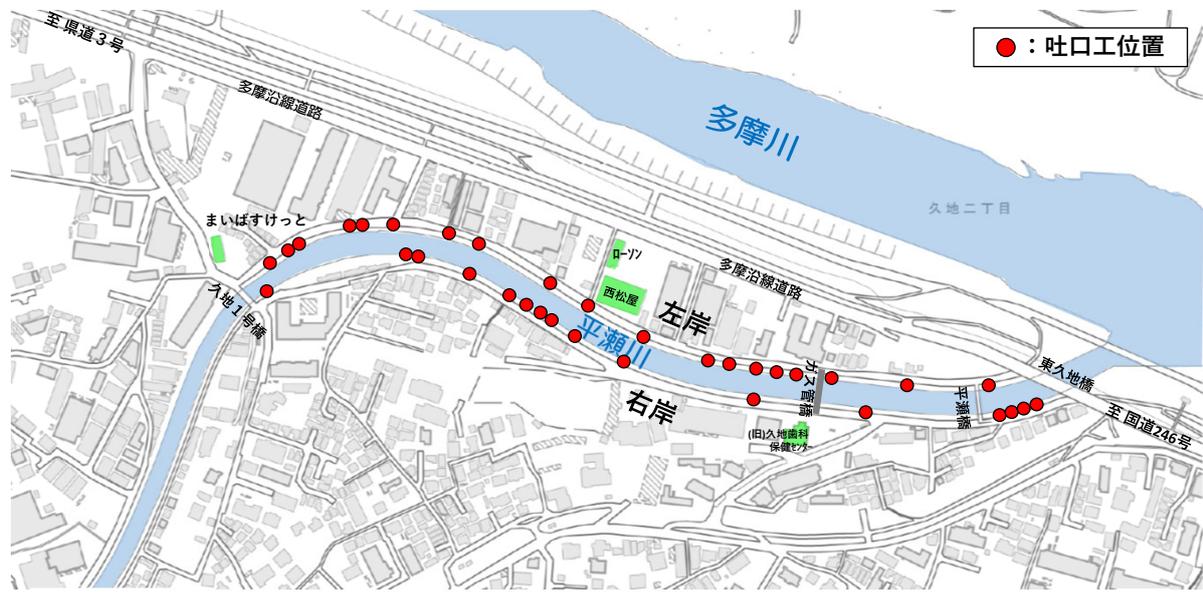


樋管



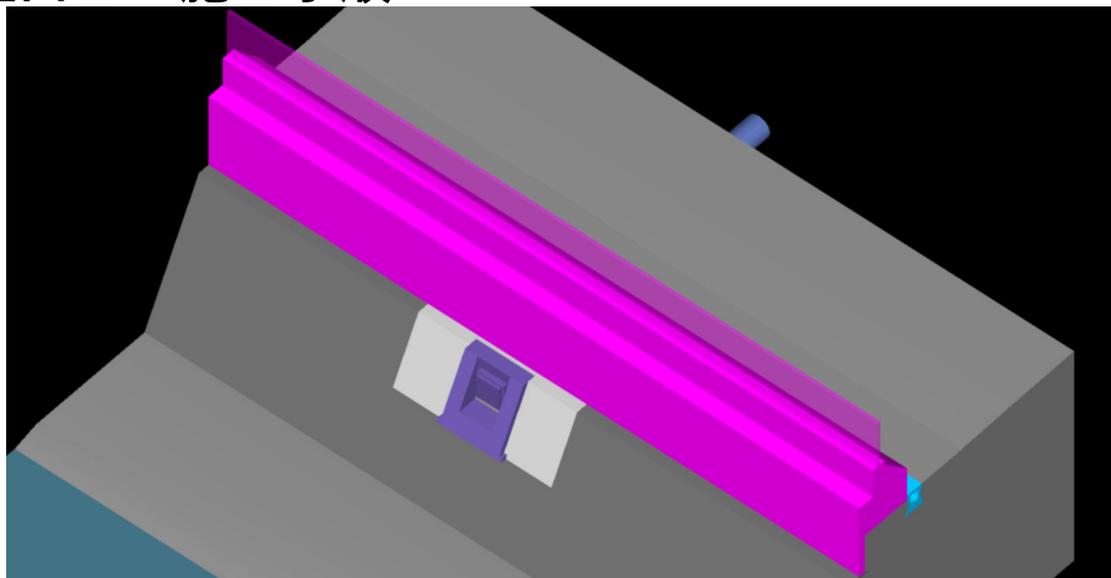
断面イメージ

吐口工位置図 (左岸19か所、右岸16か所)



23

吐口工 施工手順



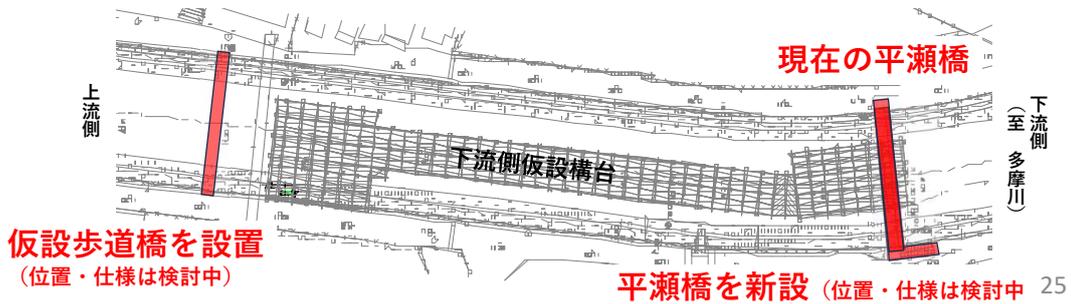
24

平瀬橋の架け替え計画について

堤防の構築に伴い、現在の平瀬橋が支障するため、平瀬橋を架け替えます。

- ①代替となる仮設歩道橋を設置し、現在の平瀬橋を閉鎖
- ②現在の平瀬橋を撤去し、堤防を構築
- ③平瀬橋を新設
- ④仮設歩道橋を撤去

(※仮設歩道橋及び新設する平瀬橋の位置・仕様については検討中)



仮設歩道橋 (詳細は検討中)

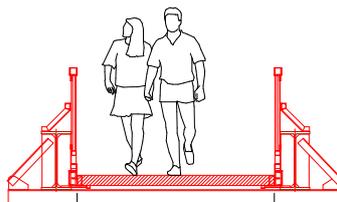


仮設歩道橋 位置図



仮設歩道橋イメージ写真

(※本工事では自転車を押して通行するためのスロープ付き階段の設置を検討中)



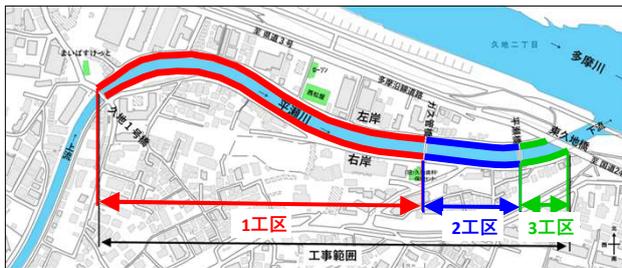
仮設歩道橋 断面図

3. 工程関係

工事工程表（工区別）

工区	R7年度			R8年度			R9年度			R10年度			R11年度			R12年度			R13年度			R14年度			
	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	
仮設構台関連				上流構台設置	下流構台上げ					下流構台設置 (平橋橋手前まで)				上流構台撤去	下流構台撤去										
1工区				[Red hatched pattern]																					
2工区													[Blue hatched pattern]												
3工区																[Green hatched pattern]									
既設堤防撤去、U型側溝、アスファルト舗装など																						[Grey hatched pattern]			

- ① 鋼矢板圧入
 - ② 鋼管杭圧入
 - ③ 上部コンクリート打設
(化粧壁、笠コンクリート、バラベツト)
 - ④ アクリル止水パネル設置
 - ⑤ 既設堤防撤去
 - ⑥ U型側溝設置、アスファルト舗装など
- 吐口工
(並行施工)



各工区の施工期間（予定）

- 1工区：令和7年11月頃～令和11年8月頃
- 2工区：令和11年1月頃～令和12年4月頃
- 3工区：令和12年4月頃～令和13年2月頃

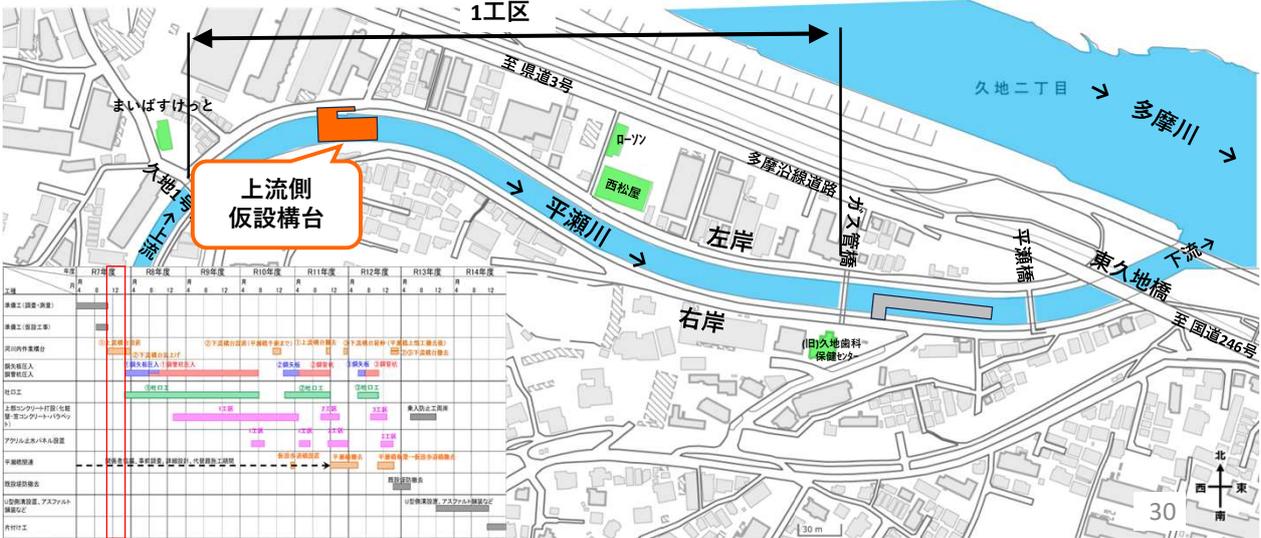
工事工程表 (詳細)

年度	R7年度			R8年度			R9年度			R10年度			R11年度			R12年度			R13年度			R14年度		
	月	4	8	12	月	4	8	12	月	4	8	12	月	4	8	12	月	4	8	12	月	4	8	12
準備工(調査・測量)	[X]																							
準備工(仮設工事)	[X]																							
河川内作業構台	①上流構台設置			②下流構台設置(平瀬橋手前まで)			①上流構台撤去			③下流構台延伸(平瀬橋上部工撤去後)			②④下流構台撤去											
鋼矢板圧入	[X]			①鋼矢板圧入			②鋼矢板			③鋼矢板			④鋼矢板											
鋼管杭圧入	[X]			①鋼管杭圧入			②鋼管杭			③鋼管杭			④鋼管杭											
吐口工	[X]			①吐口工			②吐口工			③吐口工														
上部コンクリート打設(化粧壁・笠コンクリート・バラベツト)				1工区			1工区			2工区			3工区			乗入防止工両岸								
アクリル止水パネル設置				1工区			1工区			2工区			3工区											
平瀬橋関連	関係者協議、事前調査、詳細設計、代種路施工期間			仮設歩道橋設置			平瀬橋撤去			平瀬橋構築→仮設歩道橋撤去														
既設堤防撤去													既設堤防撤去											
U型側溝設置、アスファルト舗装など																U型側溝設置、アスファルト舗装など								
片付け工																[X]								

工事工程表(詳細)内の色(工種)と次ページ以降の平面図内の色(工種)はリンクしております。
 青:鋼矢板圧入 赤:鋼管杭圧入 ピンク:上部堤体構築(上部コンクリート打設、アクリル止水パネル設置)
 茶:仮設構台関連、平瀬橋関連 黒:既設堤防撤去、U型側溝設置、アスファルト舗装など

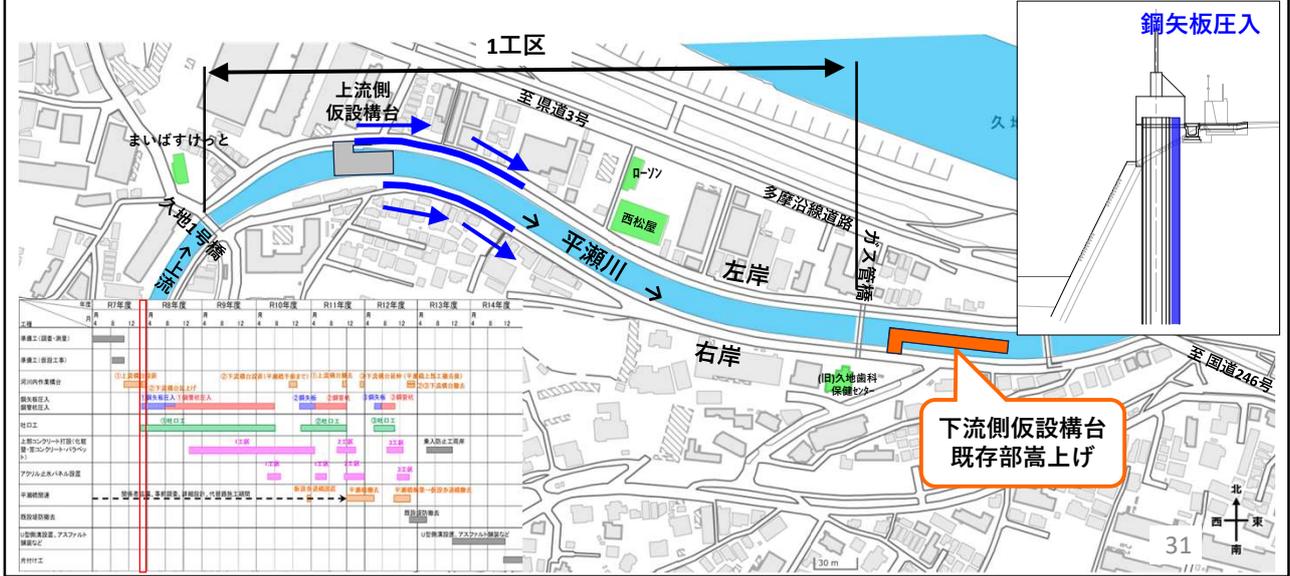
令和7年11月～令和8年2月
(2025年) (2026年)

上流側仮設構台設置



令和8年2月～令和8年3月
(2026年) (2026年)

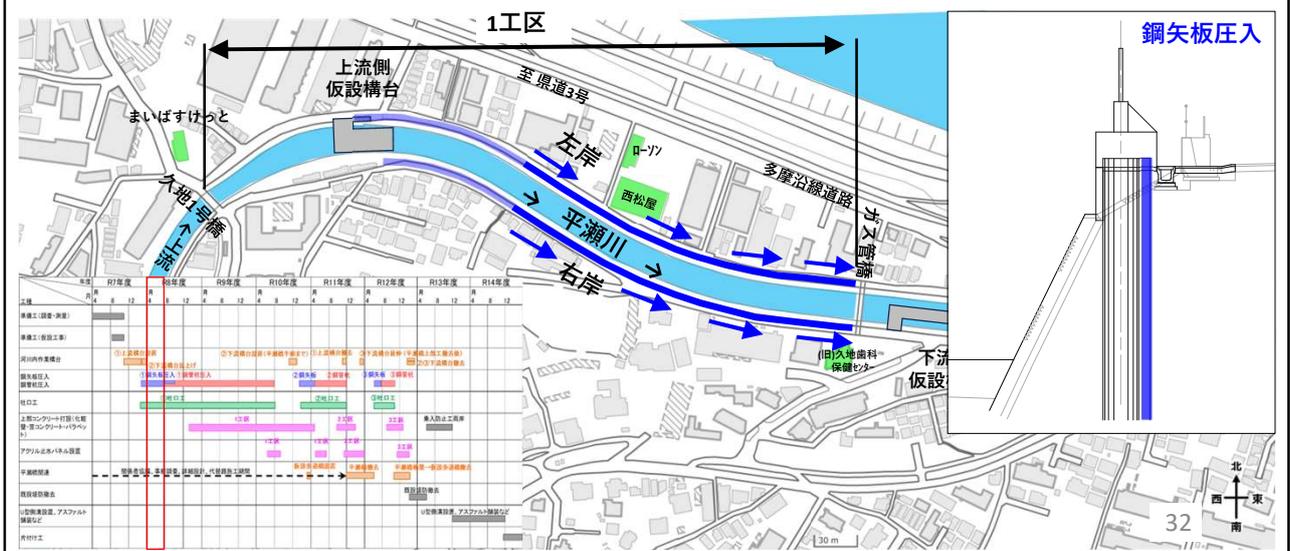
下流側仮設構台 既存部嵩上げ
左岸・右岸 吐口工+鋼矢板圧入



31

令和8年4月～令和8年8月
(2026年) (2026年)

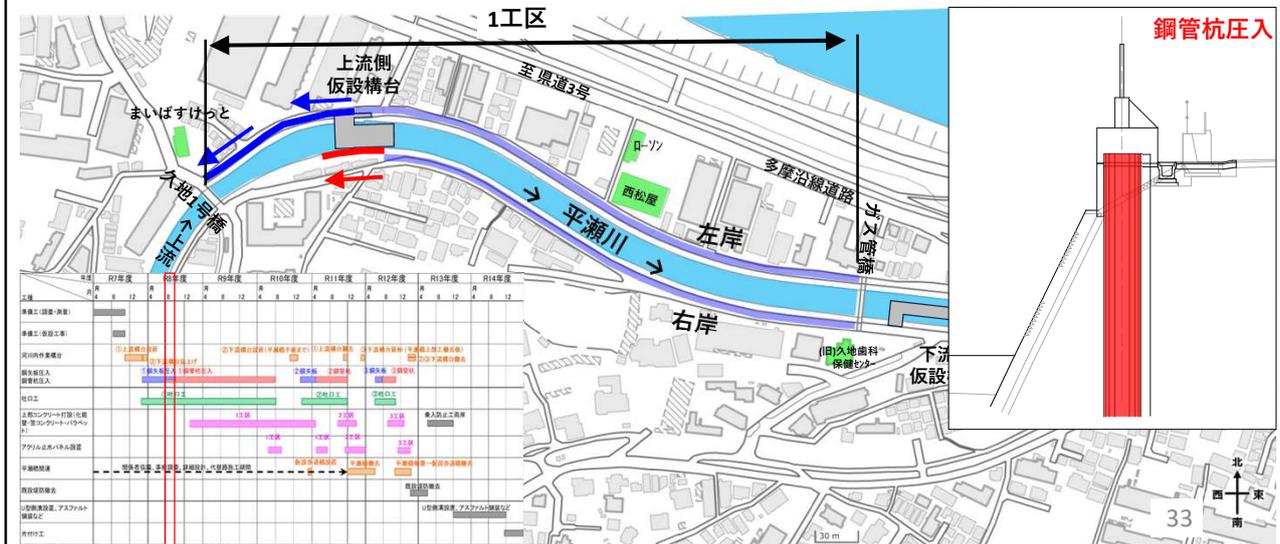
左岸・右岸 吐口工+鋼矢板圧入



32

令和8年8月～令和8年10月
(2026年) (2026年)

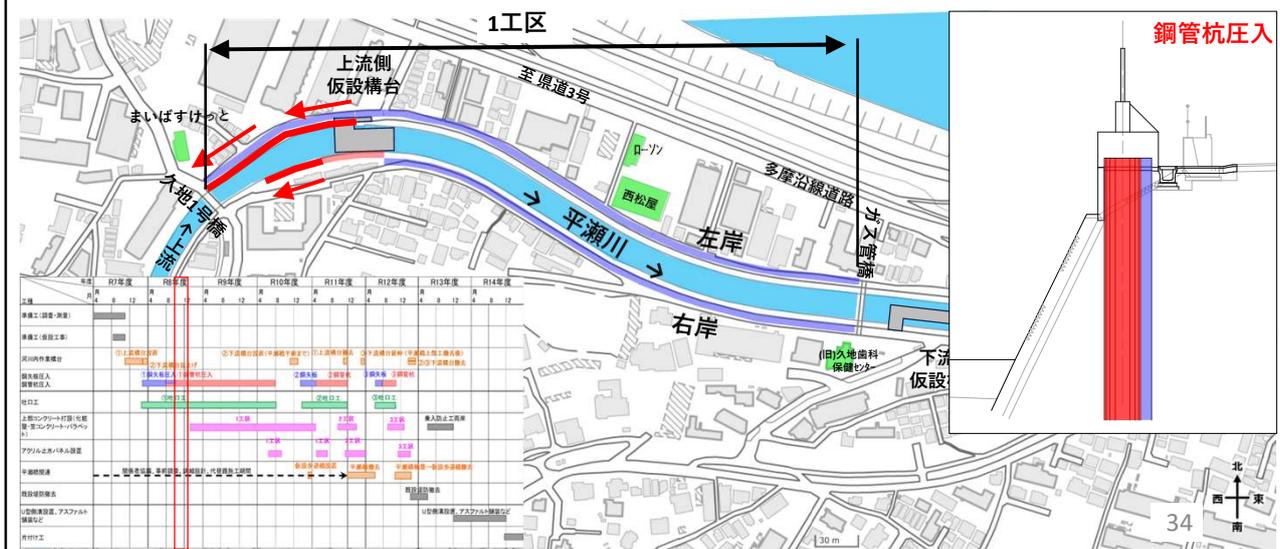
左岸 吐口工+鋼矢板圧入
(既設堤防撤去を先行)
右岸 鋼管杭圧入



33

令和8年10月～令和9年1月
(2026年) (2027年)

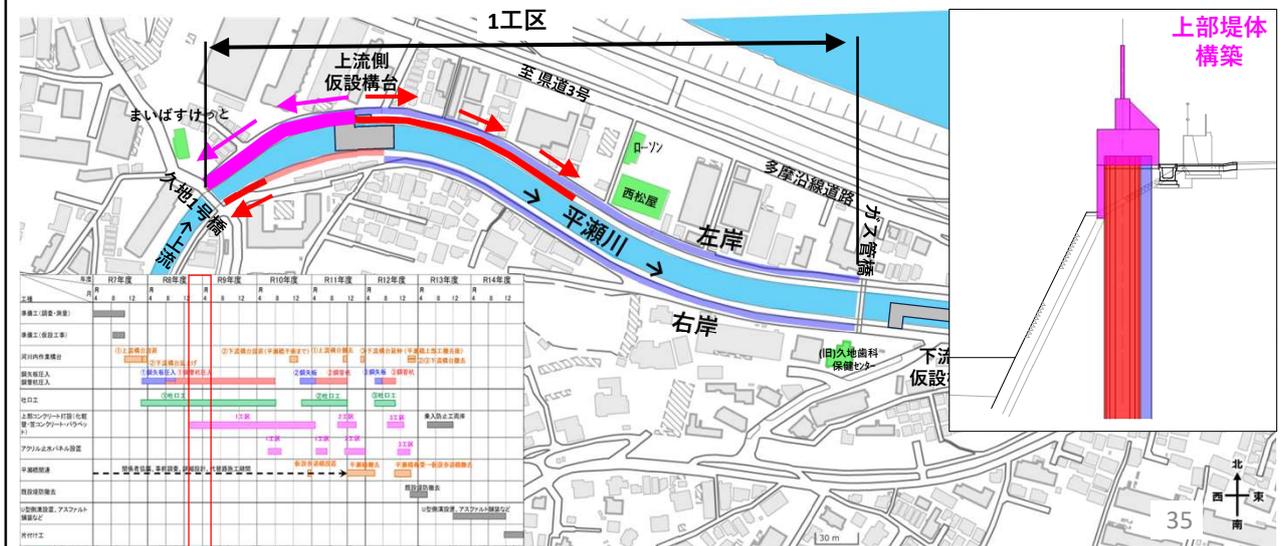
左岸 鋼管杭圧入
右岸 鋼管杭圧入



34

令和9年1月～令和9年5月
(2027年) (2027年)

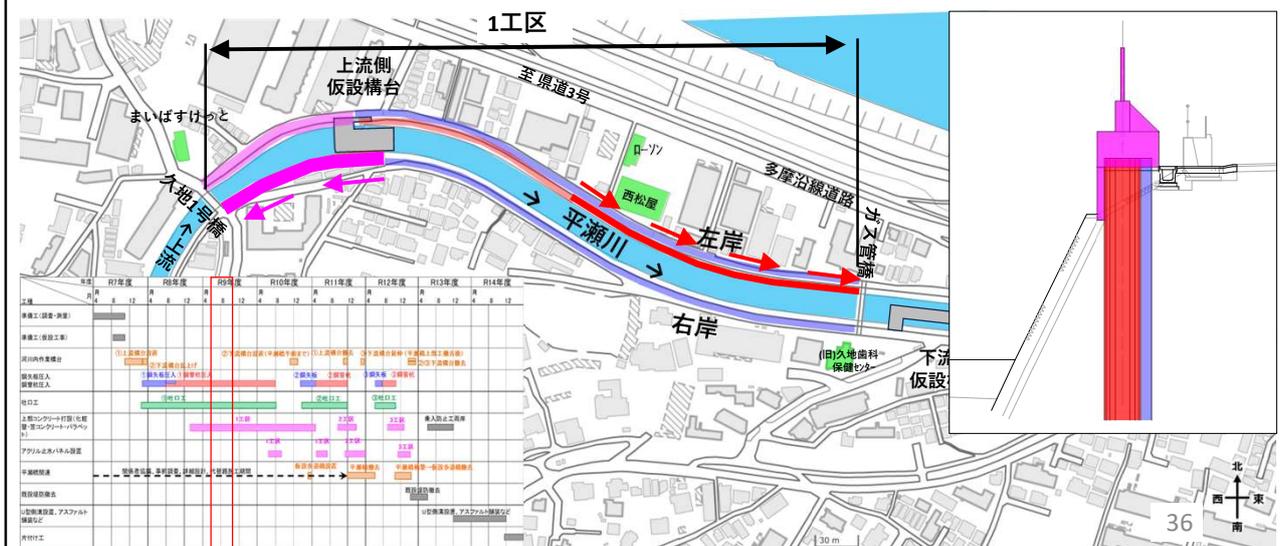
左岸 鋼管杭圧入
左岸 上部堤体構築 (R09.01～R09.03)
右岸 鋼管杭圧入



35

令和9年5月～令和9年10月
(2027年) (2027年)

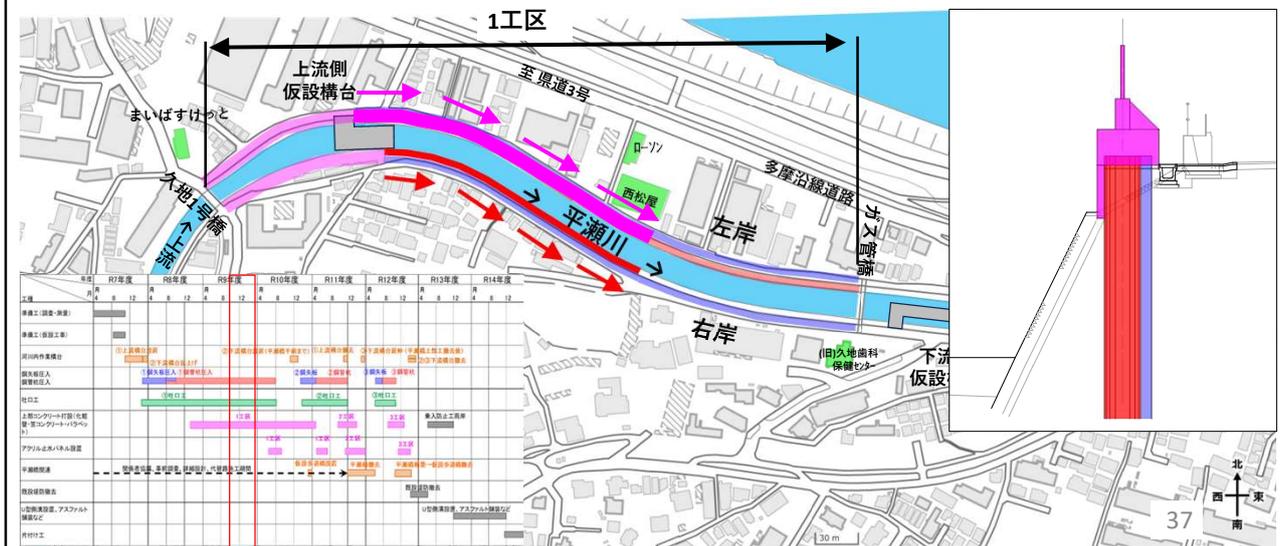
左岸 鋼管杭圧入
右岸 上部堤体構築 (R09.05～R09.07)



36

令和9年10月～令和10年4月
(2027年) (2028年)

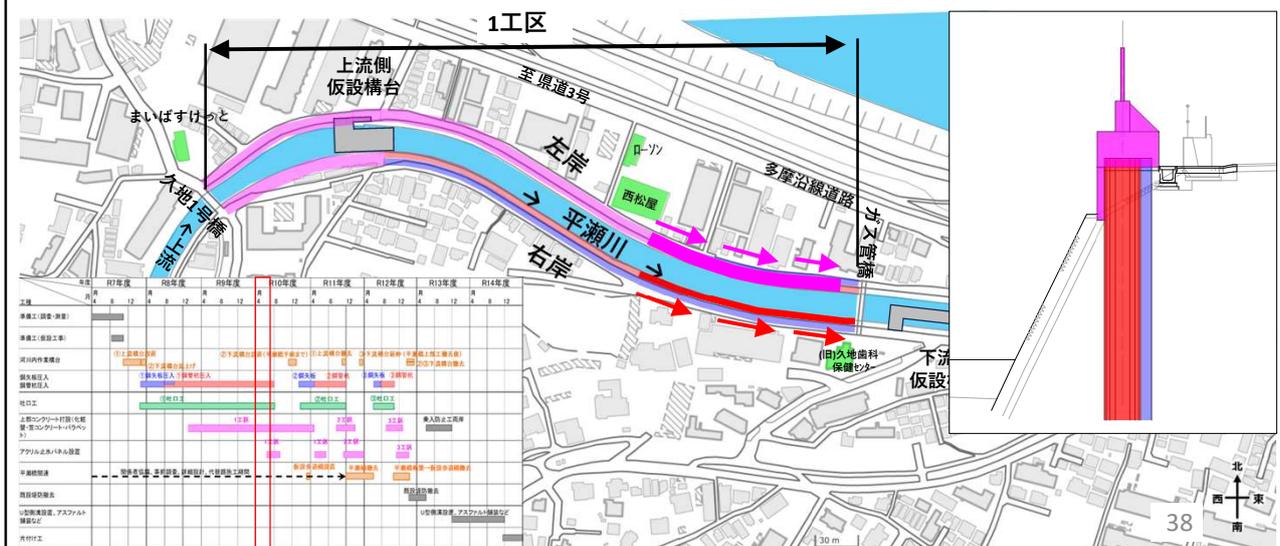
左岸 上部堤体構築
右岸 鋼管杭圧入



37

令和10年4月～令和10年7月
(2028年) (2028年)

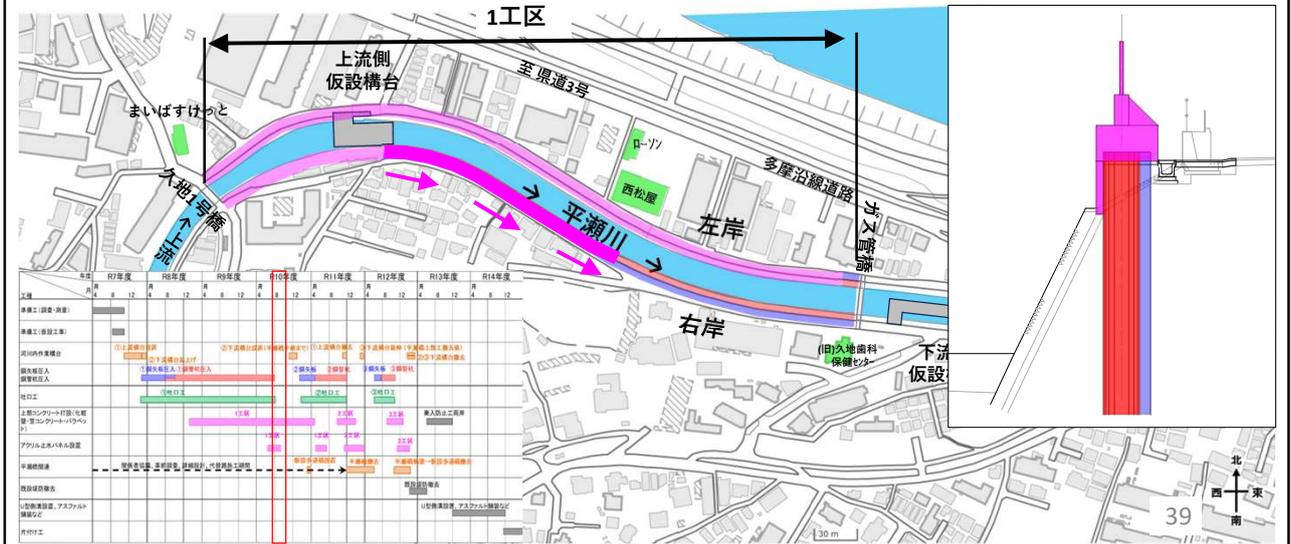
左岸 上部堤体構築
右岸 鋼管杭圧入



38

令和10年8月～令和10年11月
(2028年)

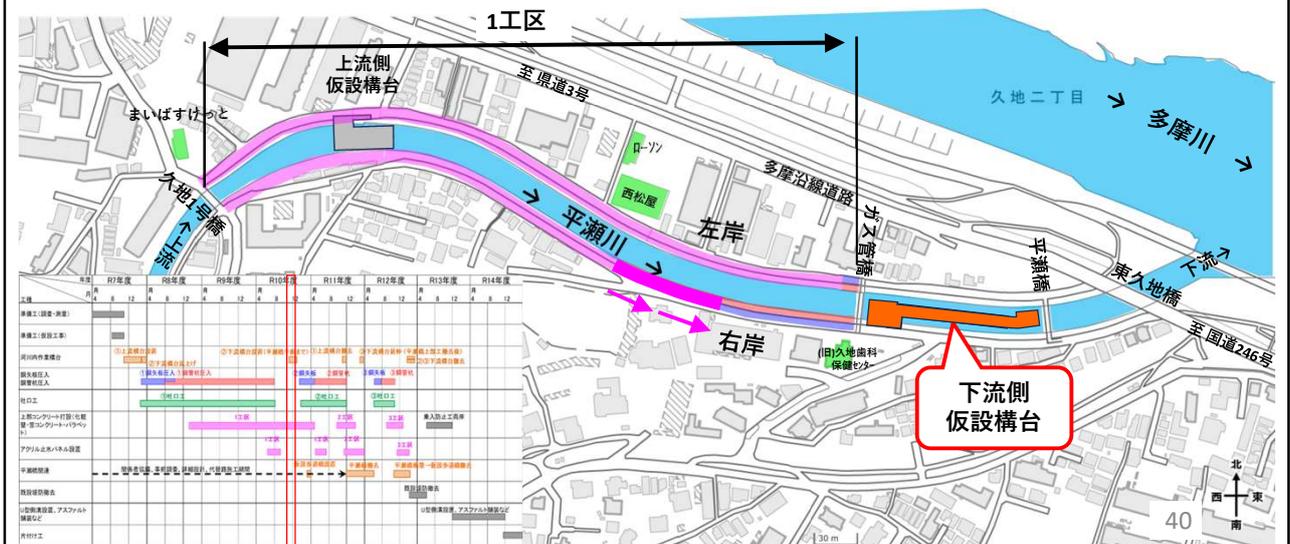
左岸 一
右岸 上部堤体構築



39

令和10年11月～令和11年1月
(2028年)

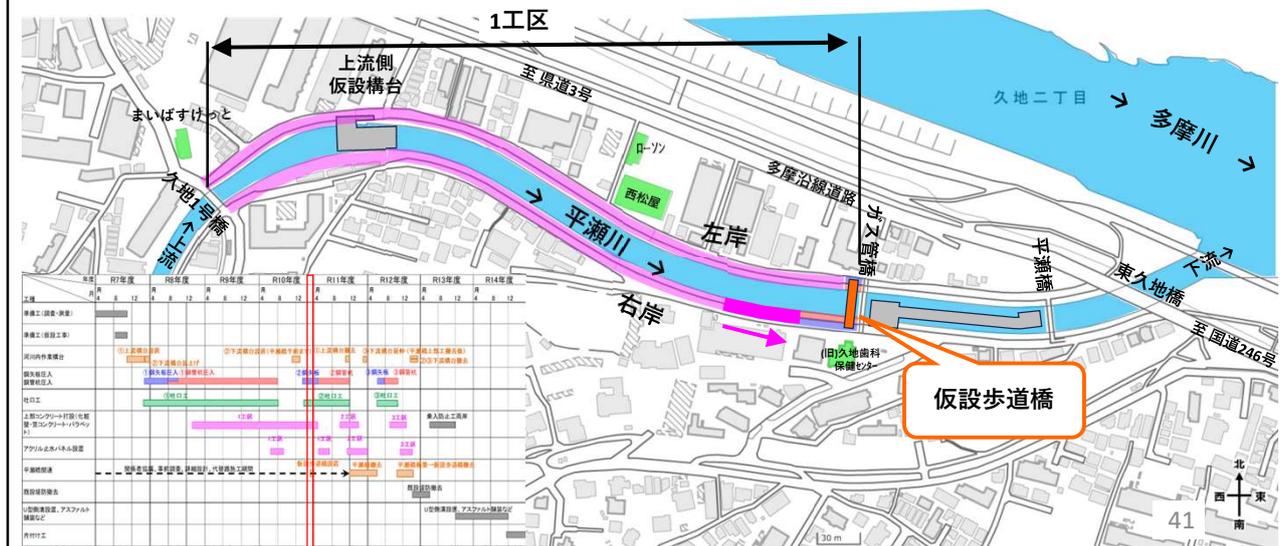
下流側仮設構台拡幅
右岸 上部堤体構築



40

令和11年2月～令和11年3月
(2029年) (2029年)

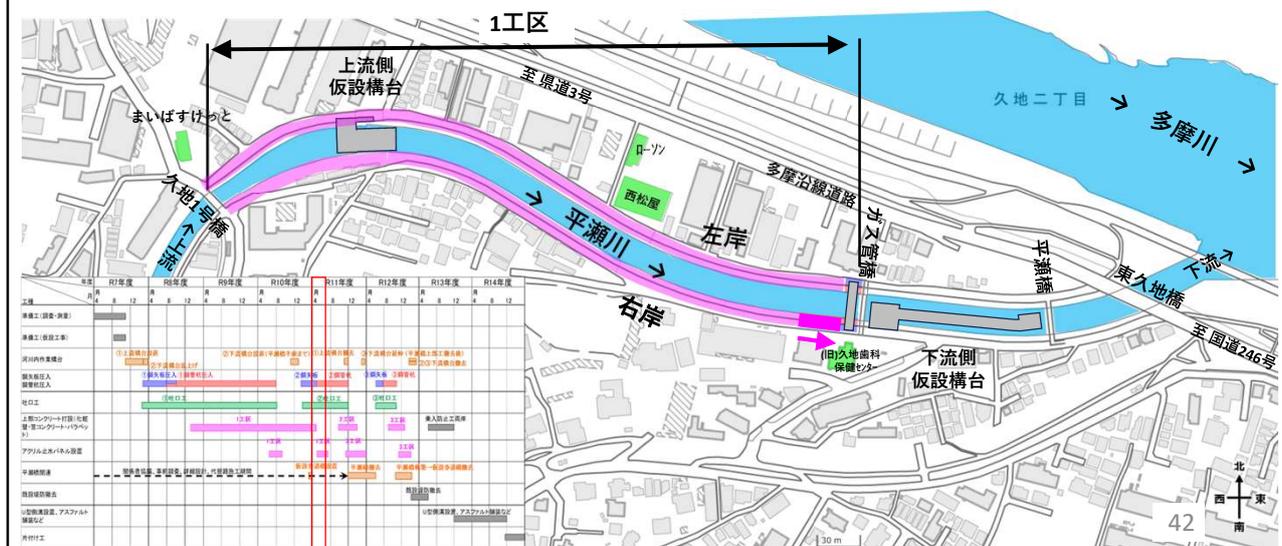
仮設歩道橋設置
右岸 上部堤体構築



41

令和11年4月～令和11年6月
(2029年) (2029年)

左岸 一
右岸 上部堤体構築



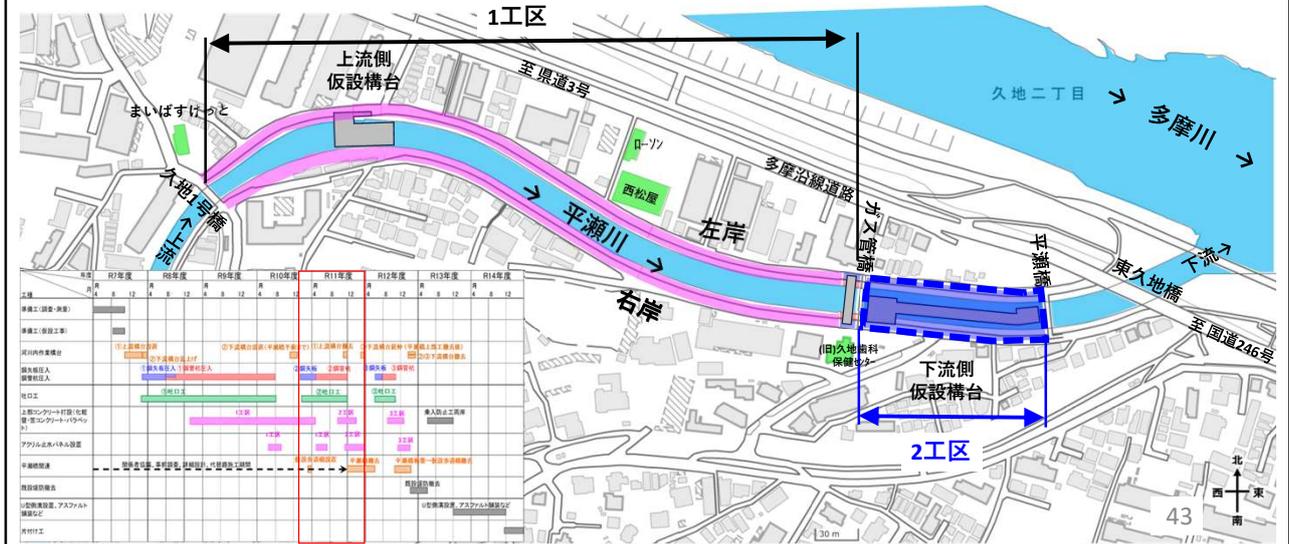
42

令和11年1月～令和12年4月
(2029年) (2030年)

2工区 施工

(吐口工、鋼矢板圧入、鋼管杭圧入、上部堤体構築)

※詳細は、次回開催予定の工事説明会にて説明



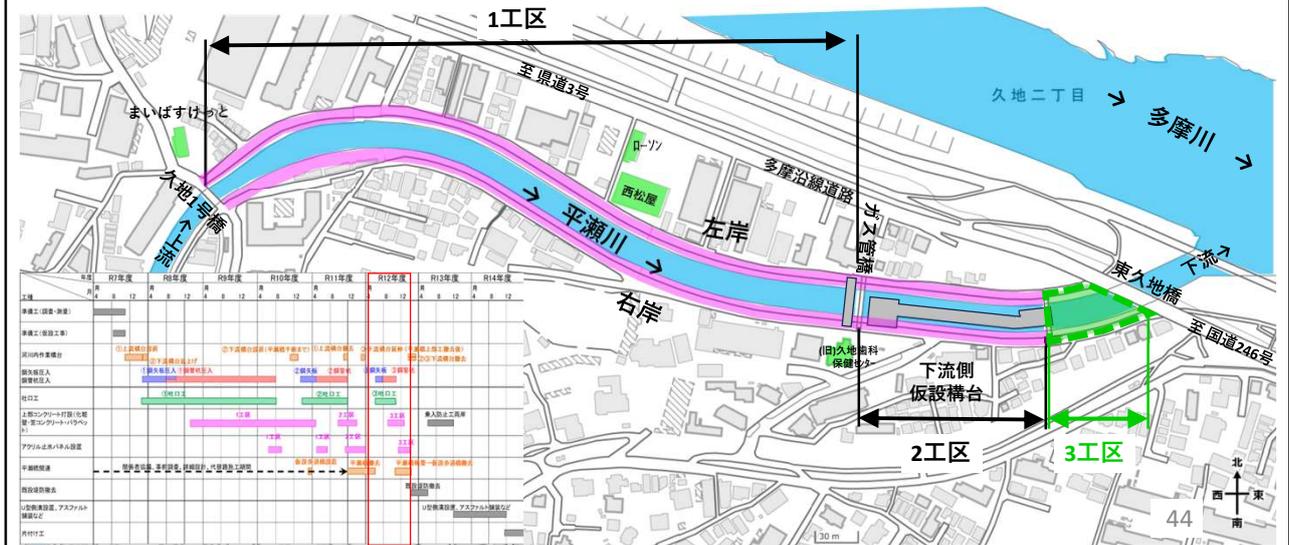
43

令和12年4月～令和13年2月
(2030年) (2031年)

3工区 施工

(吐口工、鋼矢板圧入、鋼管杭圧入、上部堤体構築)

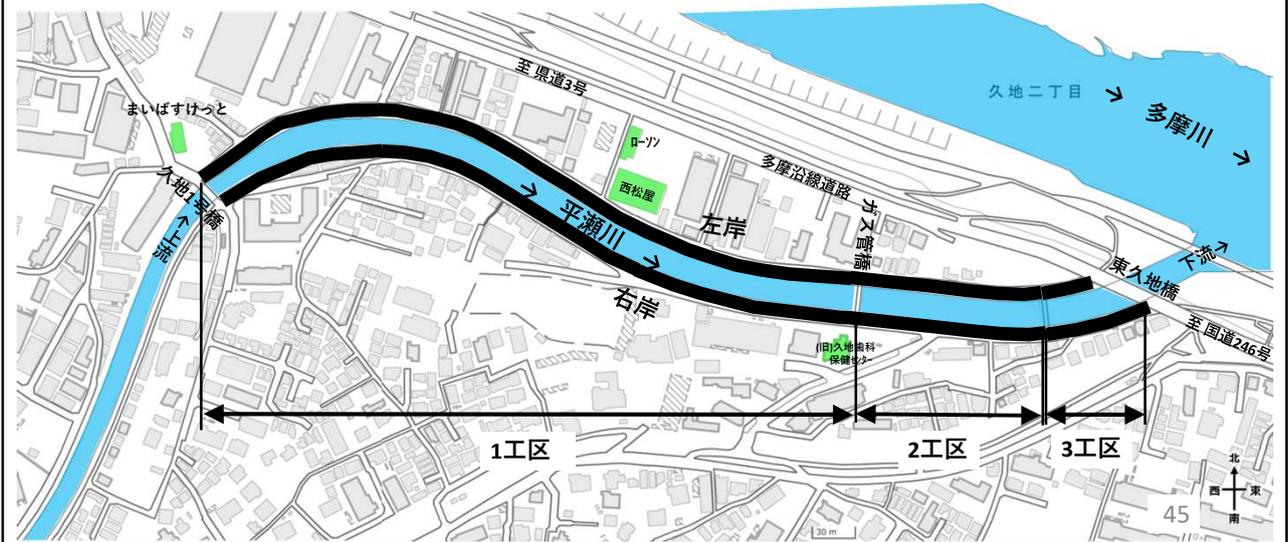
※詳細は、次回開催予定の工事説明会にて説明



44

時期については、
現在検討中です。

既設堤防撤去～U型側溝
～アスファルト舗装～保安灯



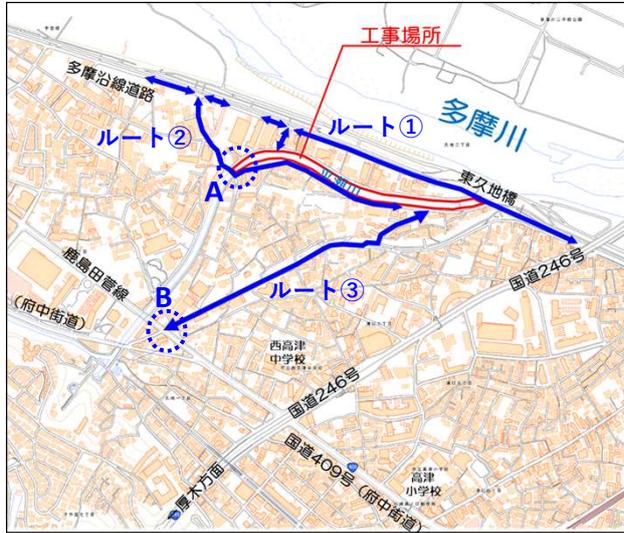
45

4. 交通関係

46

46

搬出入ルート



ルート①

多摩沿線道路から平瀬川左岸側に入るルート

ルート②

多摩沿線道路から平瀬川右岸側に入るルート

ルート③

鹿島田管線から平瀬川右岸側に入るルート

交差点A：7時～9時

平瀬川沿い道路への車両進入禁止

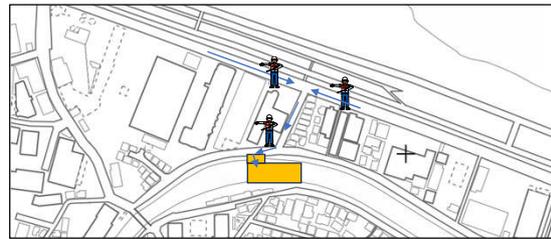
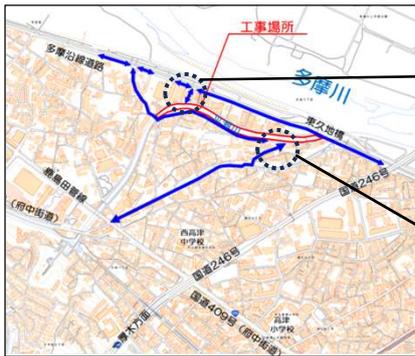
交差点B：7時～9時

鹿島田管線からの右左折車両進入禁止

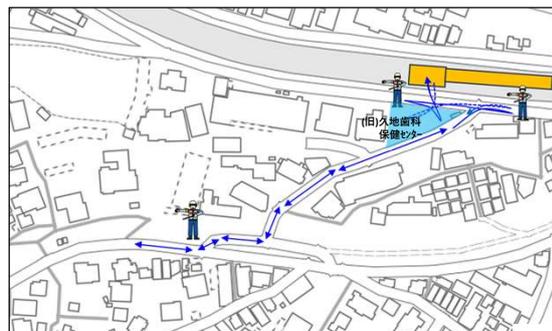
資材搬出入は8時～17時

※交通影響（渋滞など）や安全性（通学など）を考慮し、時間を調整します。

搬出入ルート



上流側搬出入ルート



下流側搬出入ルート

現場周辺の道路は道幅が狭いため、工事場所と一般道路の交差点部および大型車両搬入時には、交通誘導員を適宜、要所に移動しながら配置します。

下流側搬入ルートでは、（旧）久地歯科保健センターの敷地を活用し、工事関係車両の出入りを円滑に行います。

搬入車両

主な工種における搬入一覧

工種	内容	車種	台数	頻度
仮設構台設置・撤去	鋼材等の搬入・搬出	大型トレーラー	3台	
	鋼材等の搬入・搬出	大型車	3台	
鋼矢板・鋼管杭 圧入機械組立・解体	資材の搬入・搬出	大型トレーラー	2台	組立日、解体日
	資材の搬入・搬出	大型車	8台	組立日、解体日
鋼矢板圧入	鋼矢板の搬入	大型トレーラー	1台	週に1回程度
鋼管杭圧入	鋼管杭の搬入	大型トレーラー	1台	1～2日に1回程度
コンクリート打設 (化粧壁・笠コンクリート・ バラベツ)	コンクリート打設	生コン車	10～20台	週に1回程度
	コンクリート打設	ポンプ車	1台	週に1回程度
既設構造物撤去	コンクリート殻の搬出	ダンプトラック	5台	構造物撤去作業日
アスファルト舗装	アスファルト合材の搬入	ダンプトラック	1台	舗装作業日



大型トレーラー



大型車



生コン車



ダンプトラック

搬入車両



1区における最多搬入車両数（想定）
令和9年1月～令和9年5月（左図）

鋼管杭搬入

・大型トレーラー 2台/日

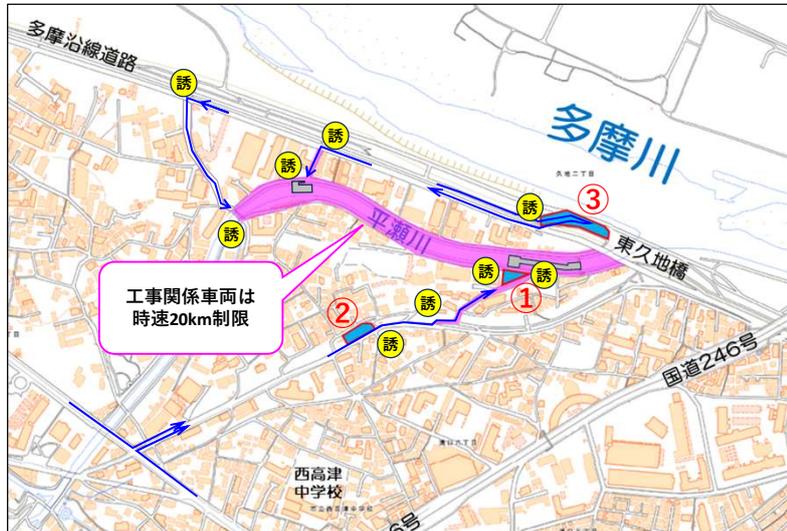
上部堤体コンクリート打設

・生コン車 20台/日（1時間に3～4台）

・ポンプ車 1台/日

大型車両搬入時は、交通誘導員を適宜、要所に移動しながら配置します。

工事車両の地域への影響対策



渋滞対策

以下の3箇所を車両一時待機場所として計画しております。

- ①：(旧)久地歯科保健センター敷地内
- ②：かすみ堤敷地内
- ③：多摩川河川敷地内

安全対策

河川管理用道路、進入路(ピンク色の範囲)において、工事関係車両は時速20km制限で走行します。

要所に交通誘導員(誘)を配置し、安全に誘導します。

←→：工事関係車両の搬出入ルート

51

51

交通規制について

■交通規制を伴う作業

- ・ 仮設構台の設置撤去 (特に乗入れ部)
- ・ 吐口工
- ・ 上部堤体の構築 (特にコンクリート打設)
- ・ 既設堤防の撤去
- ・ 仮設歩道橋や平瀬橋の設置撤去
- ・ U型側溝設置やアスファルト舗装

52

52

交通規制について

■交通規制の形態

- ・通行止め : 道路を閉鎖して作業を行うため、車両や歩行者の通行ができません。そのため、迂回していただくこととなります。
- ・道路幅減少 : 道路上で作業を行うが、車両や歩行者は通行できます。

■交通規制の時期

- ・交通規制の時期については、工事の進捗に合わせて、作業内容、交通規制の形態などとともに、交通規制予告看板の設置やお知らせ（紙）の配布などにより事前に周知します。

53

53

交通規制について

■交通規制にあたって

- ・交通規制時間は、9:00～17:00を基本とします。
- ・カラーコーンやコーンバーなどを使って、作業帯を明確にします。
- ・交通誘導員を配置し、車両や歩行者を安全に誘導します。
- ・歩行者は、通行を優先し、通行時は作業を一時中止します。

54

54

交通規制について

■通行止め

- ・作業内容や道路幅が狭い区間で通行止めを計画しています。
(夜間など作業がない時間帯は通行止めを解除するように努めますが、道路状況・作業進捗により夜間なども通行止めの可能性があります。)
- ・車両や歩行者の通行ができませんので、迂回していただくことになります。
- ・通行止め箇所や時期は現場進捗により変わりますので、それに伴い、迂回路も変わります。
- ・通行止め等により、車両の出入りが困難になってしまうお宅については、代替の駐車場を用意するなど調整させていただきます。
- ・ごみ収集や宅配便、デイサービスは、時間調整や迂回路を設けるなど、調整させていただきます。

55

55

交通規制について

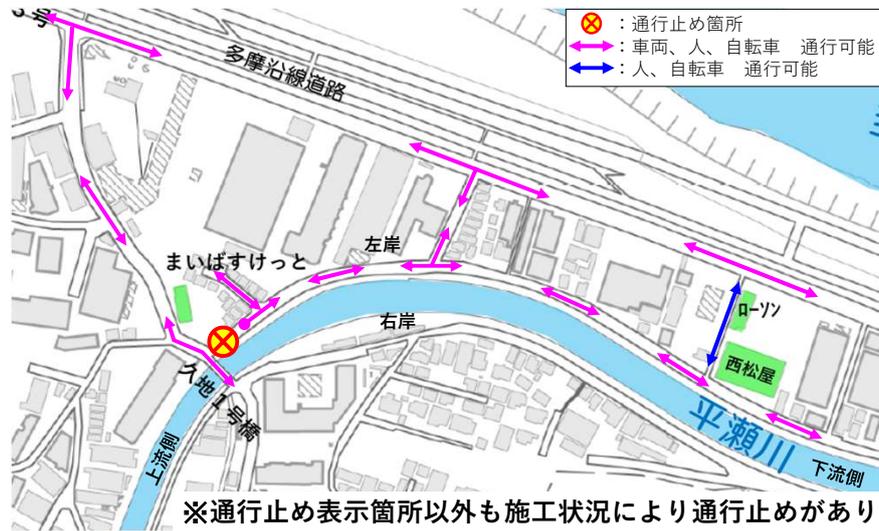
■通行止め時の迂回路（左岸上流側施工時の一例）



56

交通規制について

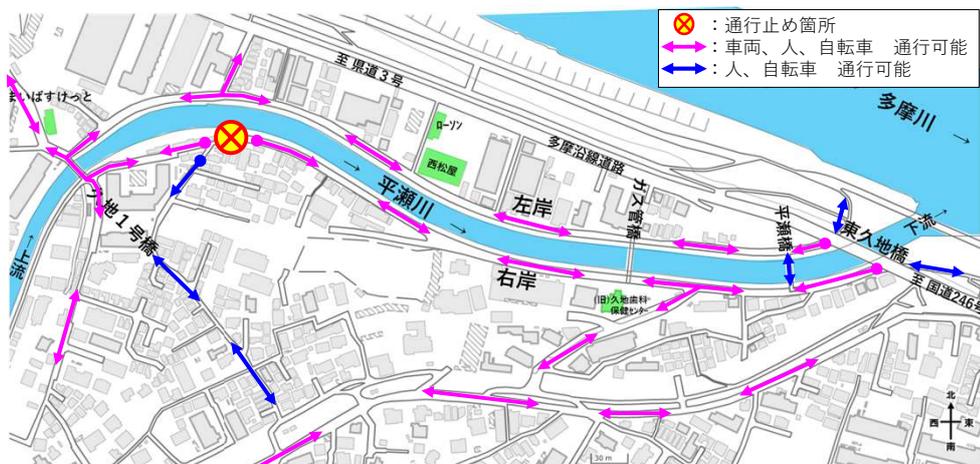
■通行止め時の迂回路（左岸上流側施工時の一例）



※通行止め表示箇所以外も施工状況により通行止めがあります。 57

交通規制について

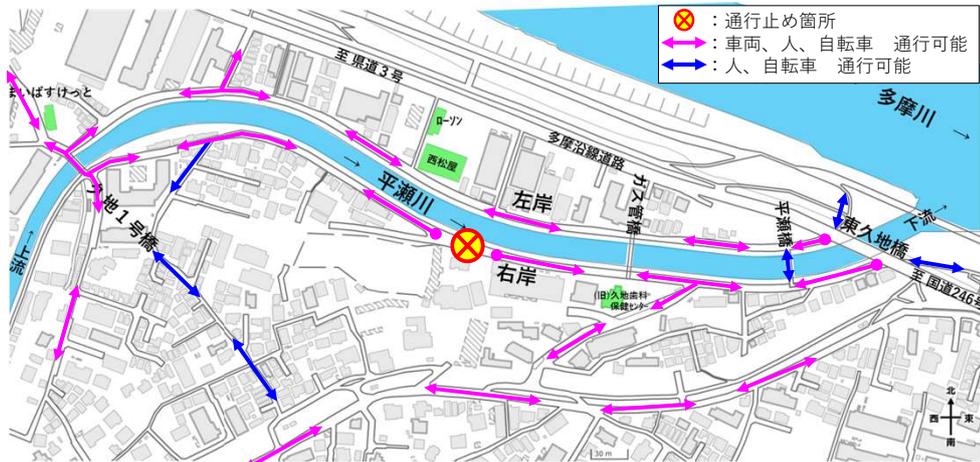
■通行止め時の迂回路（右岸上流側施工時の一例）



※通行止め表示箇所以外も施工状況により通行止めがあります。 58

交通規制について

■ 通行止め時の迂回路（右岸中流付近施工時の一例）

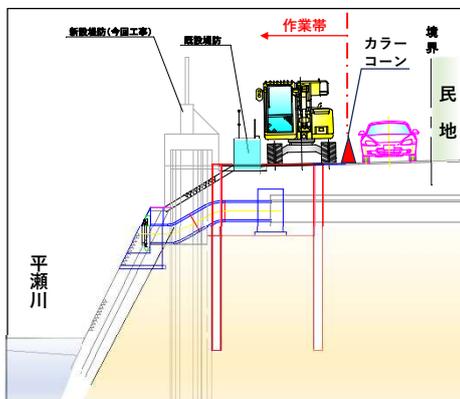


※通行止め表示箇所以外も施工状況により通行止めがあります。 59

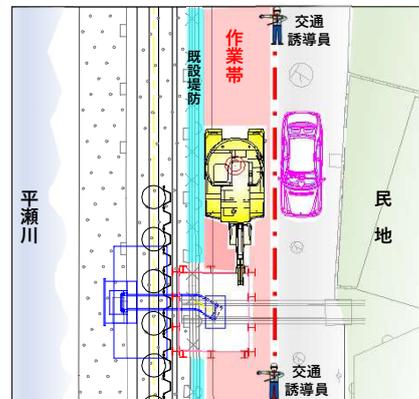
交通規制について

■ 道路幅減少

- ・ 車両や歩行者が通れるよう、作業帯を川側に寄せて、通路幅を確保します。



道路幅減少 横断面図 (例 吐口作業時)



道路幅減少 平面図 (例 吐口作業時)

5. 安全環境対策

61

61

安全対策1

【工事車両による接触事故防止】

- ①工事車両運転手と交通誘導員は、密に連絡を取り合い、接触事故を防止します。（ハンズフリーで通話ができる通信機器などの活用）
- ②搬出入ルート of 注意事項を記載した現場独自の地図を作成し、工事車両運転手や交通誘導員に周知・教育します。
また、適宜、自治会にヒヤリングを行い、地図を改善し、工事車両運転手や交通誘導員に再教育します。

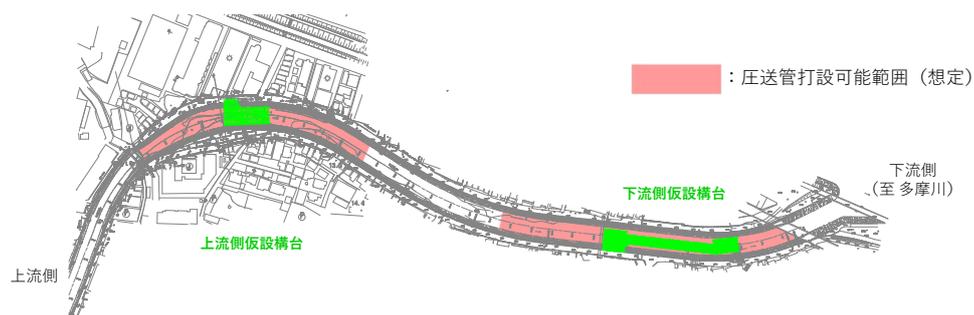
62

62

安全対策2

【交通規制回数の削減（コンクリート打設時）】

コンクリート打設は、仮設構台から施工可能な範囲では
圧送配管打設とし、道路上でのコンクリート打設回数を
減らします。これにより、交通規制回数を削減します。



63

63

安全対策3

【クレーン作業における接触・越境防止】

ガス管橋や道路から離隔1mの位置にレーザーバリアシステムを
設置します。作業開始前に模擬の吊荷を巡回させ、レーザーが
反応した位置をクレーンの旋回ロック機能に登録することで、
ブームや吊荷の接触や越境を防止します。

64

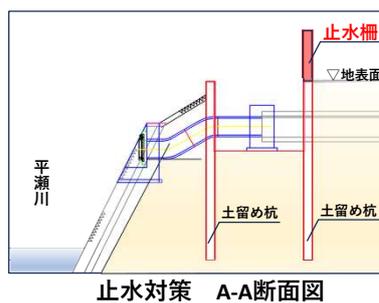
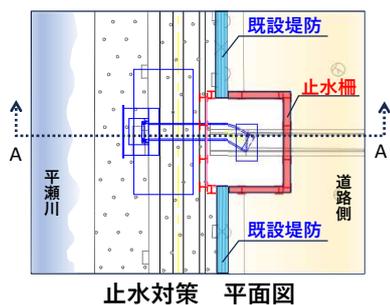
64

安全対策4

【既設堤防撤去箇所の止水対策】

特に吐口工施工時は既設堤防を一部撤去するため、それに代わる止水対策が必要になります。

⇒吐口工の土留め杭を活用した止水柵を設置します。



65

65

騒音振動対策1

クレーンと回転圧入機用パワーユニットの周囲に防音パネルを設置します。



66

66

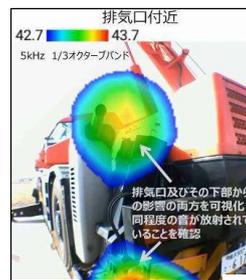
騒音振動対策2

騒音計（音ウォッチャー）で重機作業時の発生音を官民境界で計測します。

76dB（規制値85dBの90%）を超えた際は、音を可視化できる音響カメラで原因を特定し、防音パネルの配置を改善します。



音ウォッチャー



音響カメラ

67

67

騒音振動対策3

【既設堤防撤去時の騒音振動対策】

既設堤防を破砕、撤去する際は、非打撃機械の油圧圧砕機を使用します。

（油圧圧砕機でつかめない場合は油圧ブレーカーを使用）



油圧圧砕機

68

68

環境保全対策

【オイル漏れ対策】

- ①仮設構台上の重機のパワーユニット下に**防油槽**を設置します。
- ②河川内に**流出油拡散防止フェンス**を設置します。



流出油拡散防止フェンス（施工例）

69

69

情報発信

- ①**インターネット**で情報発信します。
- ②**デジタルサイネージ**を工事場所に設置し工事情報を公開します。
- ③工事情報を載せた**お知らせ（紙）**を配ります。

70

70

6. お問い合わせ先

71

71

工事事務所・現場詰所



■工事事務所

鹿島・不動テトラ・西武共同企業体
平瀬川背水堤防JV工事事務所

【住所】

〒213-0032

川崎市高津区久地1丁目2-3 ZOEビル2F
(国道246号の切通し交差点付近です)

【TEL】090-2728-5938 (事務所共有携帯電話)

【担当】 梯 (かけはし)、池田、太田

■現場詰所 (予定)

川崎市高津区久地2丁目14-4地先
(平瀬川の右岸沿いです)

72

72

住民の皆様には十分配慮して工事を行いますので、
ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。